

家具の転倒防止器具等の助成はじまる

高齢者・障害者には 取り付けも援助

地震による家具の転倒防止器具(突っ張り棒、転倒防止板、ガラス飛散防止フィルム等)等の助成制度が四月からはじまりました。対象は港区民です。高齢者や障害者など、器具を自分で取り付けられない人に対しては、シルバー人材センターに委託して取り付けてもらいます。取り付け費用一万八千円まで無料です。

地震による家具の転倒防止器具(突っ張り棒、転倒防止板、ガラス飛散防止フィルム等)等の助成制度が四月からはじまりました。対象は港区民です。高齢者や障害者など、器具を自分で取り付けられない人に対しては、シルバー人材センターに委託して取り付けてもらいます。取り付け費用一万八千円まで無料です。



お申し込みは、各総合支所(地区活動推進課)、港区防災課防災係(三三七八)二二一―内線二五四一まで。お問い合わせは、熊田ちづ子区議宅(三五八三)一四〇二まで

議案提案権を積極的に活用 多くの成果が実りました

港区は、現在行っている「高齢者家事援助サービス事業」の対象者となる人を、四月一日から細分化される介護区分の要支援1、2の人に拡大することとを明らかにしました。

区 港 独自支援 共産党が要求 国が削る 家事援助サービス

四月一日からの介護保険制度の改訂で「新予防給付」が導入され、介護の必要度が軽い要支援一、要支援二と認定された人は、介護給付による家事援助サービスなど従来のホームヘルプサービスが制限されることとなります。

要支援1・2でサービス対象になるのは約千世帯と見ています。

麻布保育園は老朽化が激しく、現在、仮園舎(鳥居坂グラウンド敷地の一部)で保育が行われています。旧園舎での建て替えが計画されていますが、隣地擁壁の補強や水路敷の安全確保、埋蔵文化財の調査等のため工事が大幅に遅れる事が明らかになりました。

仮園舎への通園路は、急な坂道で通路沿いの塀は風情は有るものの危険な所もあり、道路を横断するのにも自動車交通量が多く幼児の足ではなかなか渡れませんでした。

共産党議員団は、現地を調査すると共に議会でも質問し、計画の前倒し、通園路の安全確保を求めました。区は、「計画の前倒しを含め工期短縮に努め、着実に改築計画を進める」と答え、通園路の安全対策もとりました。



二〇〇六年度第一回定例会が開催され、六年度予算審議が行われました。日本共産党港区議員団(六名)は、この間、区民要望をもとに多くの条例提案を行ってきました。こうした共産党の条例提案の数々が、今年度予算に反映され、出産費用の助成(出産費用五〇万円を上限に、健康保険からする費用との差額を

支給)や小中学校の保護者負担軽減事業(補助教材費、卒業アルバム作成費、社会科見学の費用の一部助成)などの、要求実現につながりました(詳しくは共産党港区議員団ニュースを参照ください)。今後も新しい提案を行い、区民のみなさんの要求実現に頑張ります。区政に対するご意見、ご要望をお寄せください。



日本共産党港区議員
熊田ちづ子

区政報告

2006年4・5月

No.56

- 発行 -

日本共産党港区議員団
TEL 3578-2945
連絡先: 東麻布2-3-7
TEL 3583-1402
Eメール kumada@jcp-min
atokugidan.gr.jp
HP http://www.jcp-min
atokugidan.gr.jp/

無料生活相談

次回の予定 五月十二日(金)

六月十二日(月)

お気軽にどうぞ。ご連絡をお待ちしています

ふたり目からの保育料を無料に 党区議団六名含め九名で条例改正の提案

党区議団は、保育園にこどもを預けている子育て世帯への支援策として、ふたり目からの保育料を無料にする条例改正を準備し、各会派に共同

提案の申し入れを行いました。その結果、党区議団六名を含め九名で、「港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例」を提出しました。

現在、ふたり目以降の保育料は、収入によって五割、六割、七割に軽減しています。家賃も物価も高い港区で、子育てにがんばっている世帯への支援策のひとつとして、提案したものです。

これから、区民要求にもとづいて様々な条例を提案していく予定です。みなさんのご意見をお寄せください。

福祉会館



通信カラオケ全館に設置されます

カラオケ教室はすべての福祉会館で実施されており高齢者に人気の教室です。日本共産党区議団は、老人クラブや福祉会館の利用者の声を受けて、通信カラオケの設置を求

めてきました。その結果通信カラオケは、平成一七年度六館に導入されました。早急に残りの全館に設置するよう機会ある毎に求めてきました。予算委員会での質問に対し

「導入されていない十一館と港南健康福祉館については、平成一八年度中、できるだけ早期に導入できるよう努力する」と今年度導入を約束しました。



カラオケ教室(桜福祉会館)

障害者 「自立支援」法 —さらなる軽減必要

対)これまで障害者制度は所得に応じた負担のため、多くの方は無料でホームヘルプサービス等を受けていました。今回の改正では、所得に応じた上限額は決められたものの、

多くの障害者が大幅な負担増になります。日本共産党は、法施行を前に区独自に軽減策を作るよう議会ごとに求めていました。今定例会の日本共産党の代表質問に対し、区長は軽減策の検討を約束していました。区が実施する軽減策は、所得ごとの上限額を国の半分にする。通所の方の食事代を現行の三六〇円に据え置く。障害者福祉サービス、自立支援医療、補装具の負担の合計額に総合的な上限額を設定しその額を超える負担が生じた場合に償還する総合上限制度を設け重度の方の負担を軽減す

るとい内容です。区が軽減策を行っても、今回の障害者自立支援法では、多くの障害者に負担が押しつけられます。障害者のみなさ

んが、安心して生活できるよう施策の充実にとりくんでまいります。

日本共産党演説会

弁士



● 5月17日(水)午後7時
● 日比谷公会堂

日本共産党委員長・衆議院議員
志位和夫

参議院東京選挙区予定候補

田村智子

主催 日本共産党東京都委員会

熊田ちづ子の予算委員会での他の質問

- * 学校など指定避難所に水洗式の防災トイレを
プールの水を利用する下水直結型の防災用トイレ設備の計画的な設置を
- * 貸出用の騒音計、振動計の台数確保を
現在5台しかない。これでは区民の要望に応えられない。台数を増やすこと。
- * 田町駅西口の放置自転車をなくすための駐輪場対策を



- * 成人健康検診票を対象者全員に郵送すること
- * 2次検診の費用を無料にすること
- * マンモグラフィー検診のできる医療機関を拡大すること。検診料を無料にすること
- * 不妊治療への区の助成を
- * 介護保険料軽減のため、あらゆる取り組みを実施すること
- 国の負担分25%をしっかりと負担させること
- 調整交付金の5%は別枠とさせること
- 一般財源を投入し保険料の軽減を図ること
- * 福祉会館の食事サービスの充実を
06年度から業者による食事サービスに一本化してしまう。ボランティアを募るなど、区民参加の制度にしていく必要がある。
- * 福祉会館の各種教室の講師料を区が負担し、元気高齢者の活動を支援すること
- * グラウンドゴルフ用の場所の確保と用具への助成をおこなうこと